

平成30年8月23日  
経済産業省北海道経済産業局  
独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部

## 岩見沢農業高校 × ヤンマーアグリジャパン(株) ～高校生が最先端のスマート農業技術を学んでいます～

経済産業省北海道経済産業局と(独)中小企業基盤整備機構北海道本部は、関係機関と連携し、今年7月からITを活用したスマート農業の実証を通じた人材育成事業を実施しています。

本事業では、岩見沢農業高校の生徒がヤンマーアグリジャパン(株)北海道支社のサポートを受けて最先端のスマート農業技術を学んでいます。

この度、平成30年8月29日(水)に生徒が7月から実施してきたリモートセンシングによる水稻の栽培実証の取り組み発表を行うとともに、最新技術を搭載したトラクタの高い生産性を学ぶ試乗体験をします。

1. 日時：平成30年8月29日(水) 9:30～14:30
2. 場所：ヤンマーアグリジャパン(株)北海道支社 (江別市工栄町10番地6)  
TEL：011-381-2310
3. 当日のスケジュール ※詳細はP2参照
  - 9:30～ 岩見沢農業高校の生徒から、リモートセンシングによる水稻栽培実証の取組発表
  - 10:30～ オートトラクタの見学及び自動操舵と手動を比較するトラクタ試乗体験※雨天の場合、内容を一部変更して実施。
4. 主催：経済産業省北海道経済産業局、独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部
5. 共催：いわみざわ地域ICT(GNSS等)農業利活用研究会
6. 協力：ヤンマーアグリジャパン株式会社北海道支社、岩見沢市
7. 取材要領：P4のとおり。取材登録票によりお申し込みください。

(お問い合わせ先)

経済産業省北海道経済産業局  
産業部農商工連携課(担当：坂口、渋谷)  
電話：011-709-2311(内線2598)  
FAX：011-709-2566  
E-mail：[hokkaido-noshoko@meti.go.jp](mailto:hokkaido-noshoko@meti.go.jp)

## 【参考情報】

### 1. 当日の内容 8月29日(水)

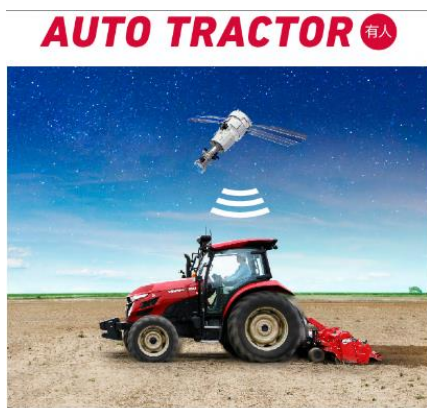
#### (1) リモートセンシングによる水稲栽培実証の取組発表【9:30～ 場所:セミナールーム】

- ヤンマーアグリジャパン(株)北海道支社から、岩見沢農業高校の水田のリモートセンシングの結果報告及び生育マップの読み方を説明。
- 生徒から、リモートセンシングにより判明した生育偏りの原因検証及び生育改善の取組を報告。
  - ・リモートセンシングにより判明した生育偏りの原因究明に向けた仮説検証報告(1班～3班)
  - ・追肥による生育改善報告(4班)
  - ・生徒43名とヤンマーアグリジャパン(株)による質疑応答及び意見交換
  - ・ヤンマーアグリジャパン(株)から講評及び総評

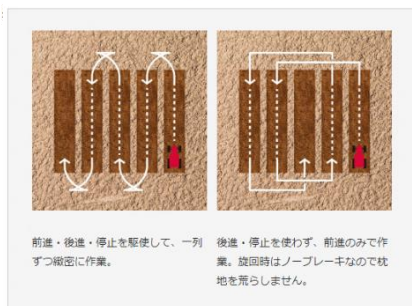
#### (2) オートトラクタの見学及び自動操舵と手動を比較するトラクタ試乗体験【10:30～】

走行、旋回、作業機の操作までフルオートで行うオートトラクタを見学するとともに、トラクタのハンドル操作をアシストする自動操舵と手動によるハンドル操作を比較体験し、作業効率、燃料や肥料、農薬の使用量削減効果など、農業経営に必要なコスト感覚を学習します。

- ・10:30～11:00 農業機械安全講習(場所:セミナールーム)
  - ・11:00～13:00 オートトラクタ見学及びトラクタ試乗体験(場所:デモフィールド)
    - オートトラクタ YT5113 オートトラクタ仕様 1台
    - 試乗車 YT5113 自動操舵搭載機 2台
- ※雨天の場合は、一部内容を変更して実施。



自動で作業を行う「オートモード」



ヤンマーアグリジャパン(株)北海道支社デモフィールド



オートトラクタ  
デモンストレーション

自動操舵と手動  
を比較する  
トラクタ試乗体験

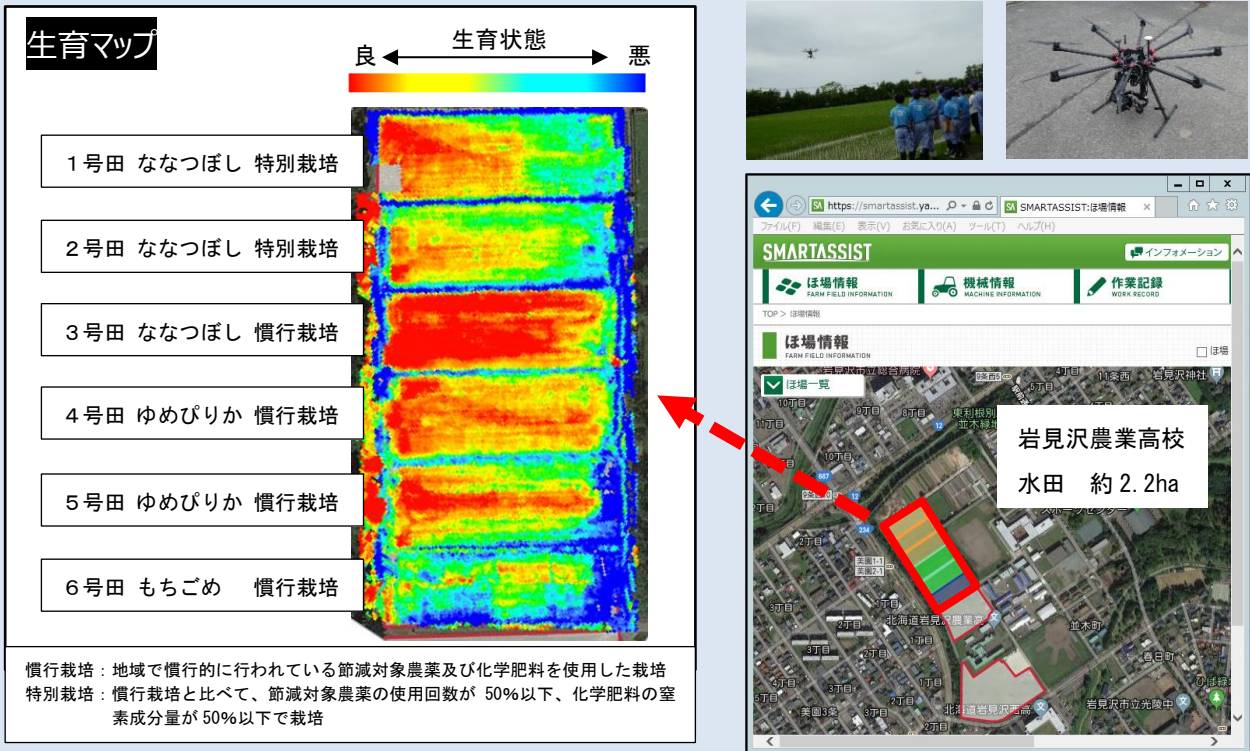


#### (3) その他

- ・13:00～13:45 昼食
- ・13:45～14:15 施設見学(工場見学等)

## 2. これまでの取組 (7月～)

- ・特殊カメラを積んだドローンで岩見沢農業高校の水田をリモートセンシングし生育マップを作成。  
※遠隔から特殊なカメラで反射光を検出し、生育状況を数値化する技術。



- ・生徒が生育マップから、生育の偏りの原因究明と生育改善方策を検討。

### 生育マップの分析 特徴：同じ区画の水田でも生育マップの左右で生育に偏り

#### ■考えられる原因（仮説）

- 仮説① 風向き・風速
- 仮説② 肥料の偏り・流出
- 仮説③ 水温の偏り



### 原因(仮説)の検証・生育改善を实践

- 生徒15名(4班)が、生育偏りの原因と考えられる仮説の検証と生育不良箇所への追肥を通じて、リモートセンシングによるスマート農業を实践。

※取組の詳細は8月29日(水)に発表。



SPAD計による生育状態の測定

### ※今後の予定

秋の収穫時(9月)に収量、食味など品質を分析し、生育改善の効果を測定のうえ、取り組み成果の発表会(12月)を開催。

## 取材登録票

FAX 送信先：011-709-2566

連絡先：北海道経済産業局産業部農商工連携課  
(TEL 011-736-9706)

締切：平成30年8月28日（火）12時

会社名：

支局名：

代表取材者氏名	所属部署	連絡先（携帯番号）
E-mail アドレス：		
取材者氏名	属性 (記者、ムービー（カメラマン、アシスタント）、スチールカメラマン他)	

### 取材要領

○フルオープン

○本登録票に必要事項を記載の上、平成30年8月28日（火）12時までに、北海道経済産業局農商工連携課にご登録ください。

○会場等への入場、カメラ撮りなど取材にあたっては、現場の係員の指示に従ってください。

○各会場は別紙を参照ください。

※ご登録いただいた情報は、本報告会の運営以外には使用いたしません。

※取材要領の変更等がある場合、携帯番号又はメールに連絡しますので、記載漏れのないようお願いいたします。

## 会場案内図

ヤンマーアグリジャパン株式会社北海道支社  
所在地：江別市工業町10番地6

